学　校　だ　よ　り

3月号(第05－12号)

令和 6年 3月 22日

横浜市立高田中学校
校長　横田　由美子
TEL：５９１－４１８３

第３６回卒業証書授与式

３月１２日（火）に第３６回卒業証書授与式が行われました。

高田中学校での3年間を過ごした１３１名の卒業式でした。コロナ禍の真っただ中に小学校を卒業し、中学に入学してきてくれた学年です。様々な制約とのつきあいから始まった中学生活でしたが、３年間、子どもたちはその時々の状況を理解し、ピンチをチャンスにと、「やるべきことと、いまできること」を考え、仲間と工夫をし、互いの違いや時には大人たちの違いも理解し尊重し、しなやかに、前向きに取り組んできました。そうやって重ねてきた日々の中で、子どもたちは成長し、人の痛みを感じ取り、感謝することができる若者に成長しました。

進路に向けた校長面談の際に校長室で何人かに「高田中学校の自慢はなに？」と聞いてみました。その時、本当に多くの人たちが、「先生と生徒の距離感がとっても良いことです」と語ってくれました。皆のことが大好きで、みなさんの成長を後押しできるよう心と頭を悩ませながら、毎日頑張っている先生たちへの何よりのプレゼントでした。自分が好きなことや得意なこと、大切にしたいことは誰になんといわれようと手放さないでほしいこと、自分は自分、自分と人と違って当たり前。人が自分と違って当たり前。人と比べないで自分のための未来の物語を自分で紡いで欲しい。誰かが求める「らしさ」とか、勝手に誰かに貼られたラベルなんて関係ないです。

世の中の変化を学び自身をアップデートし、個性の違う互いをリスペクトし合い、自分の頭で考えコミュニケーションをとって伝え合う、辛いことがあっても「ぽきっと折れない」柳のようにレジリエントにのがす。くじけそうになったときの魔法の言葉は、明るく（あ）楽しく（た）前向きに（ま）。「あ・た・ま」。そんなことをお伝えしました。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。どうかこれからも仲間とそして自分を大切に、美しくあたたかい高田の地での学校・地域・保護者・その他様々なご支援に感謝の気持ちをもち、自分らしく幸せな人生を歩んでいってください。教職員一同、心より皆さんの幸せを祈っています。

《卒業生答辞》　抜粋　卒業生代表

こうして振り返ってみると先生方をはじめとした多くの方々のおかげで、たくさんの思い出を作ることができました。しかし、高田中学校で得た思い出は、大きな行事だけではありません。毎日の授業や休み時間、お弁当の時間、定期試験など様々な時間を緑学年のみんなと一緒に過ごしました。その中でたくさん話をしてふざけ合ったり、励まし合ったり、時には悩んだりぶつかったりしながら過ごしてきました。そんな大切な時間の中には忘れられない人生の宝物となる思い出がたくさんあります。これから私達は自分で選んだそれぞれの道へと歩んでいきます。それは決して楽な道のりだけではないと思います。時には壁にぶつかる事もあると思います。そんな時は、この三年間でかかわった皆の姿を思い出してみてください。たくさんの力を与えてくれると思います。

たとえ歩く道が分かれても、緑学年はずっと仲間です。私達は今日、共に過ごした三年間に誇りを持ち、夢に向かって羽ばたいていきます。　　第36回卒業生　山田　陸斗

３月１２日（火）に３年生の卒業証書授与式が行われました。１年生は出席することはできませんでしたが、３年生の最後の姿はとても凛々しく３年間での大きな成長を感じることができました。２年後、皆さんがどんな姿を見せてくれるのか楽しみです。

第１学年 赤学年の鎌倉 MAP

さて、時が経つのはとても早く、もうすぐ赤学年の皆さんが高田中学校に入学してから１年が経とうとしています。入学当初は、新しい環境で、期待と不安、そして戸惑う場面が多くあったと思います。しかし、自然教室や体育祭、合唱コンクールなどの活動を経験することで、一人ひとりが自分の個性を伸ばし、そして「みんなで協力すれば何でもできる」という実感を共有し、クラス、そして学年全体で輝くことができたと思います。友達との絆、協力することの大切さ、自分の長所や個性を伸ばす重要性を学び、これからもお互いに協力し合い、励まし合いながら成長していけることを期待しています。きっとこの１年の経験が、高田中学校生活の基盤となるでしょう。 そして、４月からは２年生として新たなステージに進みます。これまでの経験を生かし、後輩たちの見本となる姿勢や態度を示すことを期待しています。また、１年生の頃に感じた不安や戸惑いを共感し、先輩として後輩たちをサポートする存在となってください。来年度も一人ひとりの成長と活躍を期待しています。

１学年　学年主任　田村美喜雄

中学校生活２年間を終えて　～いよいよ４月からは最上級生です～

今年度も残すところあとわずかとなり、３月１２日（火）には卒業証書授与式が行われました。係生徒の会場準備や片付けの動き、式中の態度など、２年生はしっかりと役割を果たすことができ、大変立派だったと思います。先輩たちの卒業証書を受け取る姿勢、呼名の返事、笑顔や涙、代表生徒の答辞、「旅立ちの日に」の歌声など、様々な姿から２年生は一体何を感じ取ることができたでしょうか。

４月からは皆さんが最上級生となります。この機会に是非１年後の自分たちの卒業式をどのようにしてみたいか想像してみてください。今後の学校生活で最上級生としてリーダーシップを発揮し、様々なことに意欲をもって取り組み、充実した中学校生活を送っていけるとよいでしょう。そうすればきっと、先輩方のような感動のフィナーレを迎えられると思います。

これまでを振り返ってみると、今年度も鎌倉校外学習、体育祭、合唱コンクール、高田祭など、多くの行事に一生懸命励んできました。また、来年度の修学旅行に向けての事前学習にも意欲的に取り組む生徒が多く、いつも頼もしく感じています。その反面、日々の休み時間の過ごし方、友だちとの関わり方、提出物、生活の決まり（時間、身だしなみ、クロムブックの使い方）など、それぞれの面で課題を抱える生徒がいるのも現状です。お互いに苦手な部分を補い合い、良いところは高め合えるような関係を作っていけるとよいですね。そして、一人ひとりの個性が認め合えるような集団であってほしいと思います。卒業するときに最高の青学年だった、

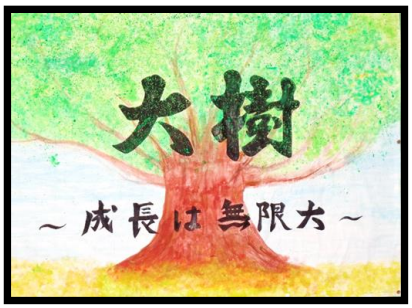
第２学年　目標　「銀河」

高田中学校で最高の仲間に出会うことができたと思えるような学年を創っていきましょう！

２学年　学年主任　辻田祐二

3 月 12 日（火）卒業証書授与式が行われました。当日は多くの保護者の皆様に、ご出席いただきありがとうございました。「卒業式は中学校で一番大事な式で、中学校最後の一日を全員が最高だったといえる一日にしていこう。」という呼びかけに、見事に応えてくれた式だったと思います。

2 年生までは、感染症対策のため様々な制約を受けながらの活動を強いられていた学年でした。世の中的には、「会話をするならマスクをしなさい」「食事は無言で食べましょう」など、コミュニケーションを制限され、後々にはおそらく「コロナ世代」のような言われ方をするのではないかと思います。その制約の中で「何ができるか」「どうすればよいのか」を考え、人と人とのつながりや協力して得られる達成感など「学校だから学べること」を大切にしながら過ごしました。3 年生になって少しずつ活動できることが増えましたが、一度途切れた活動を行うのは、新しいことを始めるような難しさもありました。伝統を守りつつ新しい歴史を創るという気概をもって過ごすことができていたように思います。



第３学年　目標　「大樹」

緑学年の生徒の素晴らしいところは、周りを受け入れることができる優しさと人の言葉や思いを受け止めて前向きになれる素直さだと思います。一人ひとりが違った特徴をもちながら、学年目標である未努立（みどり）[１年]から芝草[2 年]そして大樹[3 年]へと成長し続けた皆さんの、これからのますますの活躍をお祈りしています。

３学年　学年主任　山田　繁雄

今年度の5，６組は、生徒１１名、教員３名で楽しくのびのびと毎日を過ごすことができました。生徒は、どのようなことにも前向きに取り組み、様々なことを学び、吸収して大きく成長しました。多くのことを経験したり、小さなことを積み重ねたりすることで、これまでできなかったことができるようになることを皆が実感し、自信へとつながりました。

校外学習では、横浜市営地下鉄やバス、私鉄など、主に公共交通機関の利用の仕方について学習をしました。「春の遠足」や 「お別れ遠足」では、遠出の楽しみ方を知り、今後の余暇の過ごし方のイメージをもたせることができました。

年間を通して取り組んだ「影絵」では、仲間と協力して一つのものを作り上げることの難しさと喜びを感じることができました。仲間と協力するためには、コミュニケーションをとること、周りの状況をよく見ること、マイナス発言をしないことが大切であるということを学びました。

個別支援級　手影絵

今年度も常にみんなの笑い声が教室に響き渡っていました。「楽しむところは楽しむ」「やるべきことはやる」ということを心がけ、教室が居心地の良い空間となりました。来年度は新 1 年生を迎えます。

新たなメンバーで今年度以上のクラスを作ってほしいと思います。

個別支援級　主任　山田　ゆり

Ｒ５年度も大変お世話になりました。ありがとうございました。